

令和3年度に行った主な事業

I 新型コロナウイルス感染症への対応

感染拡大の防止

新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保

新型コロナウイルス感染症のワクチンを市民が円滑に接種できるよう取り組みました。

市民生活と事業活動への支援

住民税非課税世帯等臨時特別給付金 【4億7,821万円】

住民税が非課税の世帯などを対象に、1世帯当たり10万円の国の特別給付金を給付しました。

子育て世帯への給付 【8億3,636万円】

0歳から高校3年生までの児童1人当たり10万円、低所得の子育て世帯やひとり親世帯へ児童1人当たり5万円を給付しました。また、子育て世帯に対し市独自に一律2万円を上乗せし、新生児に対しては1人当たり10万円を給付しました。

キャッシュレス決済によるポイント還元 【2億7,944万1千円】

コロナ禍における事業者支援および市内での消費喚起に取り組みました。



プレミアム付きデジタル宿泊券の発行 【1億1,906万6千円】

市内宿泊事業者が早期に復活できるように、宿泊客増加の起爆剤となるプレミアム付きデジタル宿泊券（7,500円分を5,000円で購入）を発行しました。

II 活力ある地域経済づくり

七尾駅前にぎわい館などの管理運営 【3億321万2千円】

まちなかの賑わい創出の核となるパトリア内の七尾駅前にぎわい館の運営や、里山里海キッチン整備を行いました。



イノシシなどの有害鳥獣対策 【2,490万3千円】

作物に被害を与えるイノシシなどの捕獲や埋設への助成、電気柵の購入、狩猟免許取得への助成などを行いました。また、新たに能登島地区に整備した有害鳥獣処理施設の運営を行いました。

IV 次代を担うづくり

子ども医療費の窓口無料化 【1億2,202万7千円】

18歳までの通院・入院費などの窓口無料化を行いました。

保育士の就労促進奨励金 【80万円】

市外から転入などをし、市内認定こども園などに就職した人へ奨励金を交付しました。

III 人の流れを呼び戻す観光地域づくり

七尾城跡周辺の整備 【7,044万円】

麓から登山しやすいように七尾城登山口駐車場を整備し、案内看板の設置や遊歩道の整備などを行いました。



広域連携による移住の推進 【440万円】

羽咋市および中能登町と連携し、広域的な移住サポートを行うプランナーの設置や、ワーケーションの推進などに取り組みました。

V 市民が笑顔で活躍する地域づくり

ふるさと創生ゆめ基金事業 【906万5千円】

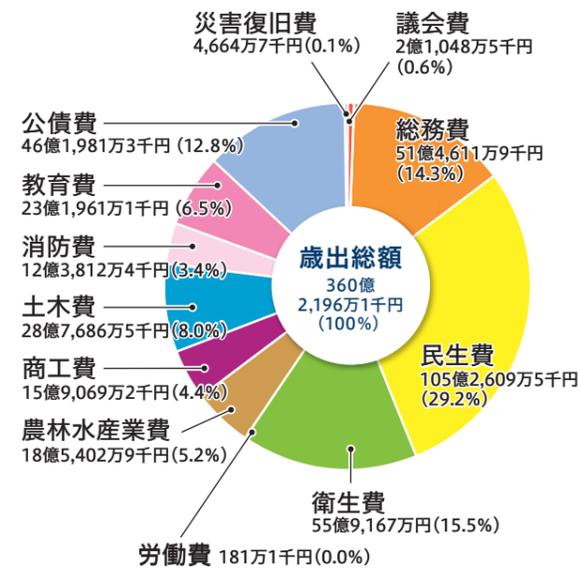
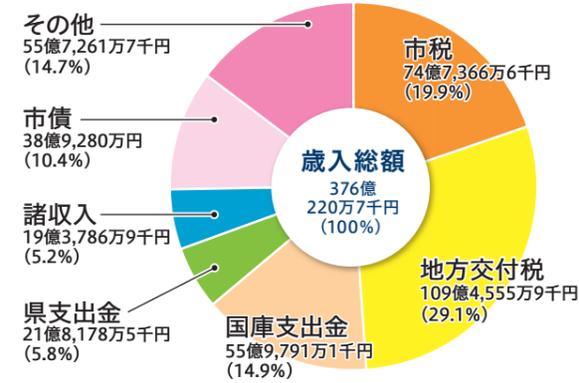
持続可能な地域づくりの推進に向けた取り組みに対し、支援を行いました。

新たなごみ処理施設の整備 【20億7,135万7千円】

石川北部RDFセンターの事業終了に伴う処理施設の整備を行いました。令和5年度に運用開始を予定しています。



一般会計

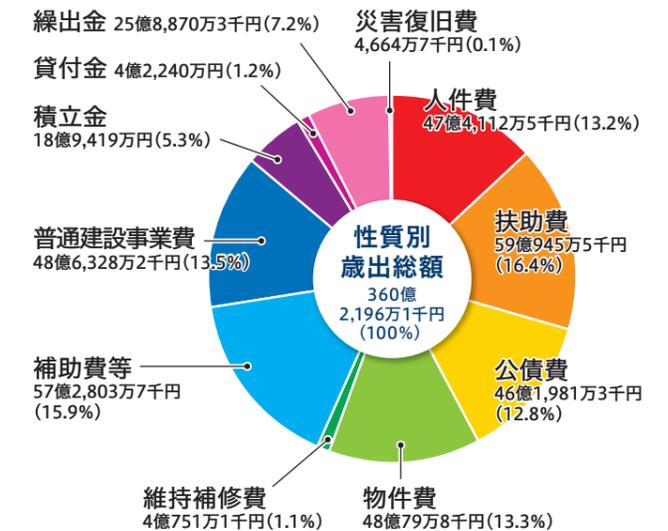


令和3年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図りつつ、地域経済の立て直しや物価高騰などに苦しむ市民生活の支援を継続的に行いました。

一方で、第2次総合計画の3年目として、「次代につなぐ市民活躍都市 なのお」の実現に向け、各施策に積極的に取り組みました。

一般会計の歳入は、376億220万7千円で、歳出は360億2,196万1千円です。歳入から歳出と令和4年度への繰越金3億5,579万2千円を差し引くと、令和3年度の実質収支は12億2,445万4千円となりました。

令和3年度
決算のあらまし



一般会計決算を年収480万円の家庭の家計簿で例えると・・・

| 収入 | | (単位：円) |
|-----------|------------------|-----------------|
| 給料 | 955,200 | 市税 |
| パート収入 | 91,200 | 使用料、手数料など |
| 親からの仕送り | 2,692,800 | 国からの地方交付税・補助金など |
| 雑収入 | 384,000 | 諸収入など |
| 貯金の取崩し | 177,600 | 繰入金 |
| 銀行からの借り入れ | 499,200 | 市債 |
| 合計 | 4,800,000 | |
| 貯金残高 | 964,765円 | |

| 支出 | | (単位：円) |
|-----------|------------------|----------|
| 食費 | 606,973 | 人件費 |
| 医療費 | 754,118 | 扶助費 |
| ローン返済 | 588,580 | 公債費 |
| 光熱水費などの雑費 | 1,342,697 | 物件費、補助費等 |
| 車などの修理 | 50,581 | 維持補修費 |
| 家などの増改築 | 620,768 | 普通建設事業費 |
| 貯金など | 298,888 | 積立金、貸付金 |
| 子どもへの仕送り | 331,076 | 繰入金 |
| その他 | 4,598 | 災害復旧費 |
| 合計 | 4,598,279 | |
| ローン残高 | 4,724,680円 | |

※貯金残高は令和3年度末基金残高75億5,777万円を、ローン残高は令和3年度末市債残高370億1,216万8千円を年収480万円に換算し算出しています。

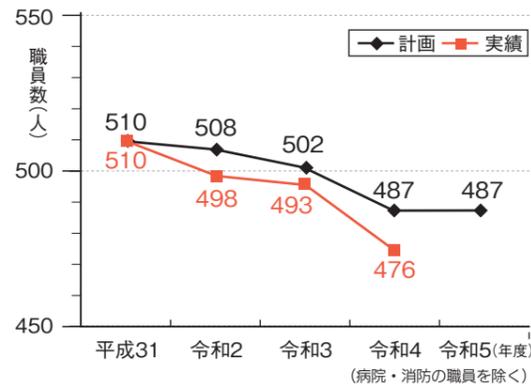
市職員給与などのあらまし

詳細は市ホームページや本庁1階の情報公開コーナーで閲覧できます。

職員数の状況

令和4年4月1日現在の職員数は476人で、病院・消防の職員を含めると1,113人です。おおむね順調に職員の削減が進んでいます。
平成30年度末に策定した第4次定員適正化計画(5カ年)に基づき、職員数の適正化に努めます。

第4次定員適正化計画の進捗状況



職員の期末・勤勉手当(令和3年度)

| 支給時期 | 期末手当 | 勤勉手当 |
|------|---------|--------|
| 6月期 | 1.275月分 | 0.95月分 |
| 12月期 | 1.275月分 | 0.95月分 |
| 合計 | 2.55月分 | 1.9月分 |

職員の退職手当(令和4年4月1日現在)

| 区分 | 自己都合 | 応募認定・定年 |
|-------|-----------|-------------|
| 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 |
| 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 |
| 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.709月分 |
| 最高限度額 | 47.709月分 | 47.709月分 |

特別職の給料など(令和4年4月1日現在)

| 区分 | 給料月額など | 期末手当 |
|------|--------|--------------|
| 給料 | 市長 | 73万6,000円(※) |
| | 副市長 | 74万円 |
| 議員報酬 | 議長 | 58万円 |
| | 副議長 | 51万円 |
| | 議員 | 48万円 |

3.35月分(令和3年度支給割合)

※特例による減額後の額

問 秘書人事課 ☎53-8465

職員給与の状況(令和3年度普通会計決算)

- 職員数 588人
(令和3年度決算時点総職員数1,130人-公営企業等会計部門職員数542人)
- 給与費総額 30億9,123万円(平均給与費526万円)
※給与費:毎月支給される給料のほか 扶養・住居・通勤などの各種手当と、民間の賞与(ボーナス)にあたる期末・勤勉手当の合計額(退職手当は除く)

職員の初任給(令和4年4月1日現在)

| 区分 | 七尾市 | 国 |
|-------|-----|-----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 18万2,200円 |
| | 高校卒 | 15万600円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | 14万7,900円 |
| | 中学卒 | 13万9,900円 |

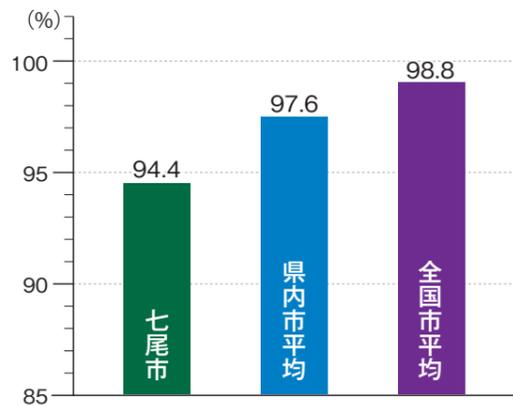
職員の平均給料月額および平均給与月額(令和4年4月1日現在)

| 区分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 |
|-------|-------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 44.7歳 | 31万9,418円 | 38万2,755円 |
| 技能労務職 | 54.5歳 | 26万9,835円 | 29万5,829円 |

※「平均給料月額」は、職種ごとの職員の基本給の平均。

※「平均給与月額」は、給料および職員手当(期末・勤勉・退職手当を除く)の合計額の平均。

ラスパイレス指数(令和3年)



※ラスパイレス指数
国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指標

| 区分 | 金額 | 備考 |
|------|-----|--------------|
| 退職手当 | 市長 | 1,809万4,560円 |
| | 副市長 | 887万1,120円 |

1期(4年間)勤めた場合の見込額

公営企業会計以外の特別会計

| ケーブルテレビ事業特別会計 | |
|---------------|-------------|
| 歳入総額 | 7億8,514万2千円 |
| 歳出総額 | 7億8,514万2千円 |

| 国民健康保険特別会計 | |
|------------|--------------|
| 歳入総額 | 59億3,732万9千円 |
| 歳出総額 | 57億8,953万7千円 |

| 後期高齢者医療保険特別会計 | |
|---------------|-------------|
| 歳入総額 | 8億2,824万2千円 |
| 歳出総額 | 8億2,696万1千円 |

| 介護保険特別会計 | |
|----------|--------------|
| 歳入総額 | 69億8,649万円 |
| 歳出総額 | 68億7,817万1千円 |

| 公設地方卸売市場事業特別会計 | |
|----------------|-------------|
| 歳入総額 | 7,823万4千円 |
| 歳出総額 | 1億2,260万2千円 |

※収支で不足している4,436万8千円は、翌年度繰上充用金で補てんしました。

目的税の使い道

| 入湯税(目的:温泉地に必要な経費に充てるため) | 5,395万3千円 |
|-------------------------|-----------|
| 環境衛生施設の整備(ごみ処理など) | 145万8千円 |
| 消防施設などの整備 | 296万8千円 |
| 観光施設の整備 | 516万5千円 |
| 観光振興(ソフト事業) | 4,389万4千円 |
| 源泉施設の管理 | 46万8千円 |

| 都市計画税(目的:都市計画事業を行うため) | 3億8,862万3千円 |
|-----------------------|-------------|
| 都市計画街路 | 6,096万3千円 |
| 下水道など | 3億2,351万9千円 |
| 土地区画整理 | 414万1千円 |

| 消費税(目的:社会保障に必要な経費に充てるため) | 7億3,996万6千円 |
|--------------------------|-------------|
| 社会福祉(生活保護、障害福祉など) | 4億8,038万1千円 |
| 社会保険(国民健康保険など) | 8,646万8千円 |
| 保健衛生(医療、感染症対策など) | 1億7,311万7千円 |

経常収支比率

市の生活費の状況を収入との割合から計る1つの目安で、数値が低いほど財政構造に弾力性があります。
(経常経費充当一般財源/経常一般財源総額)×100(%)

| 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 |
|-------|-------|-------|
| 89.2% | 93.3% | 93.4% |

問 財政課 ☎53-8455

公営企業会計

| 水道事業会計 | | |
|--------|------|--------------|
| 収益的収支 | 収入総額 | 20億3,072万5千円 |
| | 支出総額 | 17億8,781万4千円 |
| 資本的収支 | 収入総額 | 2億2,081万2千円 |
| | 支出総額 | 8億6,519万2千円 |

※資本的収支で不足している6億4,438万円は、当年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

| 下水道事業会計 | | |
|---------|------|--------------|
| 収益的収支 | 収入総額 | 26億9,600万1千円 |
| | 支出総額 | 25億8,321万8千円 |
| 資本的収支 | 収入総額 | 14億7,789万5千円 |
| | 支出総額 | 25億2,088万3千円 |

※資本的収支で不足している10億6,291万9千円(翌年度への繰越工事資金19,930千円を除く。)は、当年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

| 病院事業会計 | | |
|--------|------|---------------|
| 収益的収支 | 収入総額 | 103億8,669万5千円 |
| | 支出総額 | 85億223万9千円 |
| 資本的収支 | 収入総額 | 6億4,103万7千円 |
| | 支出総額 | 12億5,072万円 |

※資本的収支で不足している6億968万2千円は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

基金の状況

財政調整基金

収入を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えたりするために積み立てているお金

減債基金

市が借り入れたお金の返済を計画的に行うために積み立てているお金

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 財政調整基金残高 | 41億6,899万1千円 | 47億9,227万5千円 | 40億6,490万4千円 |
| 減債基金残高 | 4億3,543万1千円 | 2億円 | 0円 |
| その他特定目的基金残高 | 29億5,334万8千円 | 16億6,716万2千円 | 23億948万2千円 |

実質公債費比率

市全体のさまざまな事業における、市のローン返済の状況を計る目安で、数値が低いほど財政構造に弾力性があります。

| 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 |
|-------|-------|-------|
| 11.7% | 13.0% | 14.0% |